

(ろぐみだより)

★ 園外保育 EX お誘い! ★

行こうぜ! ジャングル! (副園長)

あくまで個人的なお誘いなんです、本物のジャングルに行きませんか?

…突然なにを言い出すんだ、と紙面の前で呆れている皆さんの顔が浮かぶようですが、話を強引に続けさせていただきます。

僕は探検に、冒険に、憧れて生きてきました。

命を賭して旅に出るような覚悟が無かったので、植村直己にはなれませんが、今でも、そのような旅には強く憧れます。未知との出会いに、この国の日常には落ちていない心のときめきに。

みなさんはどうですか。いきませんか、ときめきは?

というわけで、年末、「BORNEO EXPEDITION 2013」、開催です!!

すべて自己責任、スペシャルすぎる大人の「園外保育 EX」!

EXPERT (専門家) と EXPERIENCE (経験) を EXPANSION (拡張) する EXTRA (特別) な EXPEDITION (冒険) !!

常識外れ? いいじゃないですか。常識よりも大切な、胸の高鳴りを。

さあ、はじめから無理なんて言わないで、一歩、踏み出しちゃいましょう! 一度だけの、人生です。一緒にドキドキしませんか!?

タイトル

「BORNEO EXPEDITION 2013

生命回廊キナバタンガン川を遡るロストワールドへの旅」

期間 2013・12・22~12・30 8泊9日

行き先 マレーシア・ボルネオ島の熱帯多雨林 (ジャングル)。

参加対象者

中学生以上 幼稚園の子どもは参加できません。※申込多数の場合は先着順です。つまり、お仕事を休んでお父さんが参加する、もしくは、子どもを離れてお母さんが参加する、等となります。他の参加メンバーは、園長・雄志・すでに参加表明をした他の幼稚園の先生・保護者・大学の先生・その他色々な人・あの映画のモデルになったあの人も参加するとか…?

参加費用 約20~30万円のあいだ

ジスコ・ボルネオ社協力のもと、とにかく安く!とじていますので、参加者数で費用が変動する仕組みです。なるべく早めの参加表明をいただきたいのが本音です。ご遠慮なくご相談ください。お待ちしております。

企画者

牧原東吾 & ボルネオ専門の旅行社「ジスコ・ボルネオ社」

他では絶対あり得ない、スペシャルオーダーの旅です!

スペシャルゲスト

安間繁樹氏 ボルネオのスペシャリスト!

イリオモテヤマネコの生態研究を最初に手がけ、成果をあげ、1985年からは、おもに国際協力機構(JICA)海外派遣専門家として、ボルネオ島で調査および研究指導に携わってきた方です。

安間氏はその人生の3分の2はボルネオと西表島に生息してきた方で、ボルネオの自然・生物・民俗・文化・言語のすべてに精通しています。ほんとに何でも知ってる逞しくてスゴイ人!でも、メチャクチャ気さくで、オヤジギャグと泡盛の帝王。この旅の心強い氷先案内人です。(事前会・研修会予定)

あさひこ tweet...

(激しく喧嘩をする年中ふたり。「おまえなんて嫌い! 大っ嫌い!!」と言われた男の子が…)

「おまえ、そんな、嫌いって言っても…

…また会うからな!」

(…うん、実に、そりゃそうだ。毎日毎日、会うよね。いくらでも喧嘩できるし、仲直りできるよね)

第8号

平成25年 7月3日

内容

マレーシア・ボルネオ島サバ州最長560kmの大河・キナバタンガン川にスルー海の河口から入り、源流のマリアウ・ベイスン自然保護区までボートで遡ります。

川に沿って進むということは、ボルネオの文化を遡ることであり、生息する生き物との密度の濃い遭遇を意味します。オランウータン(川の民)など地元の人々との交歓…そしてボルネオゾウ、クロコダイル、オランウータン、テングザル、サイチョウ、ウツボカズラ、ダイオウゼミ、トビトカゲ…、並べ立てたらきりの無い生き物たちとの出会い…。

そして目的地であり最大のヤマ場でもある「マリアウ・ベイスン」は、広大な範囲に原生林が残り、アジアのロストワールド・熱帯雨林の最後の楽園とも言われている、通常は入ることもできない「太古より続く、本物・完全なジャングル」。まさに人間の手の入らない、秘境中の秘境です。

宿は初日と最終日はホテルを経由せざるを得ませんが、キナバタンガン遡上中はホームステイ(民宿)、マリアウ・ベイスンのジャングルでは宿泊研究用ロッジをベースにします。つまり現地の人たちとジャングルと一体になれるという最高に贅沢な旅です。

熱帯多雨林は「地球の肺」と言われ、大量の酸素を作っているところです。地球上の熱帯多雨林は中央アフリカ、アマゾン、そして今回のボルネオの3つです。そこは生物多様性の宝庫ですが、いずれも開発と保護の狭間で様々な問題を抱えています。

今回の旅では、地球の命の源である熱帯多雨林の持つ深い意味を、自らの五感で問いかけることができれば、と願っています。

スケジュール

12.22(日) セントレア発 9:50、香港着 13:25、コタキナバル着 18:30。

コタキナバル ホテル泊。

12.23(月) 空路コタキナバル発 7:00、サンダカン着 7:45、水路サンダカン港発 9:00、河口からキナバタンガン遡上開始。プキットガラム村 民泊

12.24(火) クアムトゥ村 民泊

12.25(水) タンクラブ村 民泊

民泊3泊を重ね、キナバタンガン川をトイレ・屋根つきボートで上り続ける。

12.26(木) タンクラブ村発、4WD 車で陸路、目的地マリアウ・ベイスンを目指す。マリアウ・ベイスン着。

12.26(木)、12.27(金)、12.28(土)

マリアウ・ベイスンのジャングルのロッジをベースに3泊し、手付かずの原生林を様々なアクティビティで楽しみます。

12.29(日) 陸路でタワウ空港着、15:15 発、空路コタキナバル着 16:05。

コタキナバル ホテル泊。

12:30(月) コタキナバル 11:35→14:30 香港 16:25→セントレア着 20:55 着。解散。帰宅。

※おおよそのものです。まだ変更になる可能性があります。

参加申し込み・お問い合わせ

「絶対行く!!」「ほとんど行く!!」「行ってみたい!!」「検討したいから色々たずねたい」「わたしでも大丈夫かな?」「誰が行くんだろう?」「まさか自分がいくなこと…でも…」というような、つまり「ちょっとでも興味のある方」は、ご遠慮なく園長までご相談ください。お待ちしております。

※これは幼稚園の行事では**全くありません**。あくまで園長からの「個人的なお誘い」の告知です。上記日程の中で何があっても、すべて**参加者の自己責任**でお願いいたします。ここで告知する以外、園は一切、企画に関与していませんので、ご了承ください。